平成23年度に実施した事務事業の評価

番号	26016	事務事業名	特定健診事業	所管課	健康づくり課

総合計画体系（後期）			
	部	5	市民の健康づくり・福祉の向上
	章	5	社会保障制度の健全運営
	節（施策）	2	国保・後期高齢者医療保険の健全運営

【将来像】

後期基本計画の節（施策）の目標です。

必要な医療サービスを安定して受けられるまち

【事業の目的】

対象（誰・何）が、どのような状態になることを目指していますか？

対象者（４０歳～７４歳の国保被保険者）が特定健康診査を受診し、その結果に基づく保健指導を受けること。このことにより、受診者の健康意識が向上し、生活の見直しや行動変化につながり、生活習慣病の有病者・予備軍が減少する。

指標名（成果指標）	説明・算定式	単位	実績の推移			23年度		目標値			
			20年度	21年度	22年度	目標	実績	24年度	25年度	26年度	27年度
特定健診の受診率	特定健診受診者数/対象者数	%	33.9	32.3	23.4	60	31.4(見	65	60	60	60

【事業の内容】

対象（誰・何）に対して、どんな手段を実施していますか（しますか）？

特定健診は、国保の被保険者で４０歳から７４歳までの人を対象に、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の該当者・予備軍を早期発見し、生活習慣を改善してもらうことを目的とし、「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準」に示された検査を行なうもので、宗像医師会病院健診センター、地域のコミュニティセンター等、個別の医療機関で行う。また、市独自で３０歳から３９歳までの国保被保険者に対しても同様の内容の健診（基本健診）を実施している。

事業費（単位：千円）		22年度決算	23年度決算	24年度予算
事業費合計		28,641	47,949	55,950
財源内訳	国・県支出金	8,257	16,422	15,526
	地方債			
	その他			
	一般財源	20,384	31,527	40,424
財源名	国・県支出金	国民健康保険特定健康診査・保健指導国庫負担金	国民健康保険特定健康診査・保健指導国庫負担金	国民健康保険特定健康診査・保健指導国庫負担金
	地方債			
	その他	生活習慣病予防講座参加者負担金		

平成23年度に実施した事務事業の評価

【平成23年度の実施結果】

23年度 実施計画	○特定健診の実施○・受診しやすい健診体制づくり○受診率の向上に向けた受診勧奨、広報・告知
実施結果	実績となる数字も入れて、分かりやすく ○センター健診（宗像医師会病院健診センター）を101回実施。（うち13回は当初定員から各回3人ずつ増員。）　○地域健診（メイトム宗像、各地区コミセン等）を土日祝日含んで32回実施。（当初の26回から6回日程増設。）○未受診者に対し、郵送による個別受診勧奨を行った。（7月：ハガキ7,111人、1・2月：封書1,036人）

【担当課の一次評価】

必要性の評価	評価	その評価をした理由
市民のニーズはどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している 9　法令等により市に実施義務がある	2	一定の受診はあるが、被保険者側の意識変化による自発的な受診行動が極端に増えているわけではない。
民間、国、県、市の他の事業と目的や成果が重複していませんか？ 1　重複していない　2　一部重複している　3　重複している 9　法令等により市に実施義務がある	1	国保被保険者のみを対象とした事業である。

有効性の評価	評価	その評価をした理由
目的に対しての成果はどうなっていますか？ （成果指標の「23年度」欄の目標を達成できていない場合は「3」を記入） 1　向上している　2　変わらない　3　落ち込んでいる 9　法令等により市に実施義務があり、有効性を判断できない	3	前年度に比べると受診率は上がっているが、目標値には達していないため。

効率性の評価	評価	その評価をした理由
コスト効率・業務効率はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	3	健診が保険者に義務づけられた結果、健診機関に対する需要が急増し、市の事業の受入制限や検査単価の上昇を招いている。

25年度の事務事業に向けての総合評価と改善策

内容・予算		総合評価	具体的な改善策（いつまでに何をしますか？）
内容	維持	受診者の増加を目指し、受診しやすい体制づくりを図る。	○必要に応じセンター健診や地域健診の日程増設・定員増員を実施する。○平成23年度に引き続き、県医師会との集合契約に参加し、個別医療機関での受診体制を維持する。○受診者の自己負担金のあり方について検討する。
予算	拡大		

【平成25年度に向けての二次評価（最終評価）】

評価		理由及び検討事項
内容	維持	特定健診申込者が増加しており、日程増設・定員増員は必要であり、また、胃がん健診委託料増加のため、予算は「拡大」とした。
予算	拡大	